

令和7年度 新豊崎中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

1 全国学力・学習状況調査

※中学校理科はICT端末等を用いた、文部科学省CBTシステム（MEXCBT）によるオンライン方式（以下、「CBT」【=Computer Based Testing】とする）で実施。

学年		生徒数 (人)	平均正答率(%)		平均無解答率(%)	
			国語	数学	国語	数学
3 年	学校	82	63	56	3.9	5.7
	大阪市	—	52	46	6.8	11.2
4月17日	全国	—	54.3	48.3	6.7	10.6

	平均IRTスコア
	理科
学校	546
大阪市	489
全国	503

※IRTとは、国際的な学力調査等で採用されているテスト理論です。

この理論を使うと、異なる問題から構成される試験・調査の結果を、同じものさし（尺度）で比較することができます。

※IRTスコアとはIRTに基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500を基準にした得点で表すものです。

令和7年度 新豊崎中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

調査結果から

【成果と課題】

○全国学力・学習状況調査

<国語>

平均正答率は全国より8.7ポイント高い。記述式問題の平均正答率は全国より+11.6ポイントで、自分の考えをまとめる活動を継続してきた成果がでた。学校別解答状況整理表(以下、S-P表)より「文脈に即して漢字を正しく使うことができるかどうかを見る」趣旨の問題に課題があるため、自由記述の際に既習漢字を利用するように指導を行っていくことが必要だと考えられる。

<数学>

平均正答率は全国より7.7ポイント高い。関数領域の平均正答率は全国より+11.1ポイントで、ICTを活用して視覚的に捉えやすい授業を行った成果が出た。S-P表より「語句の意味を理解しているかどうかを見る」趣旨の問題に課題があるため、対話的な活動の際に数学的用語を使用するように指導を行っていくことが必要だと考えられる。

<理科>

平均IRTスコアは全国より43ポイント高い。IRTバンドが4以上の割合は全国より+14.5%で、主体的・対話的で深い実現に向けた授業改善を行った成果が出た。S-P表より「塩素の元素記号を問うことで、元素を記号で表すことに関する知識及び技能が身に付いているかどうかを見る」趣旨の問題に課題があるため、小テスト等により理解度を確認していくことが必要だと考えられる。

<生徒質問紙>

「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方方に気付いたりすることができますか」の質問に対する肯定的な回答が全国平均よりそれぞれ11.3%、8.2%高い。また、「いじめは、どんな理由があつてもいけないことだと思いますか」の質問に対する最も肯定的な割合は全国平均より15.8%高い。

【今後に向けて】

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善やICTの活用により、学力向上が図れている。一方で、S-P表より基礎的な問題に課題がみられるため、教科で用いる語句を活用して記述的な活動や対話的な活動を行うように指導していく。

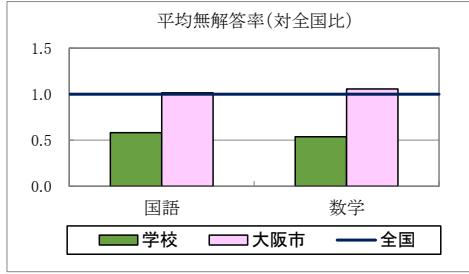
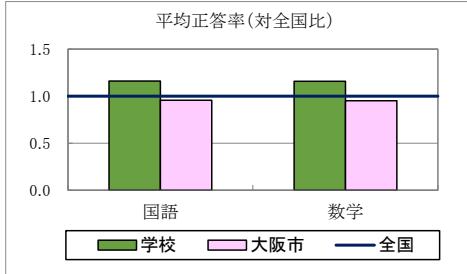
**令和7年度 新豊崎中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—**

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【全 体】

	平均正答率(%)	
	国語	数学
学校	63	56
大阪市	52	46
全国	54.3	48.3

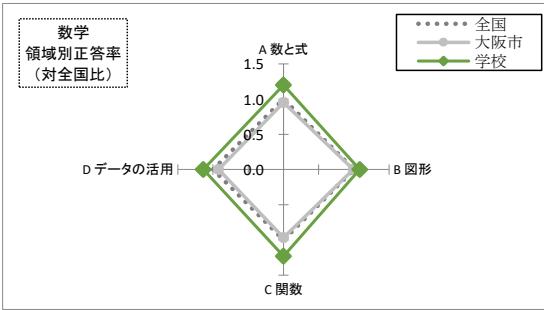
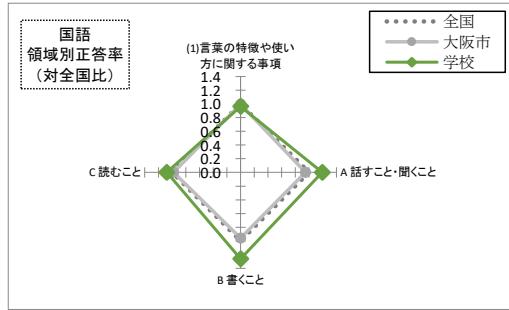
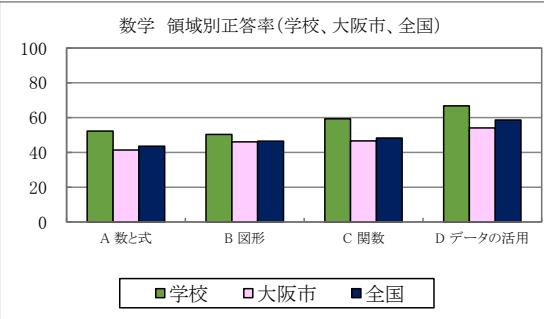
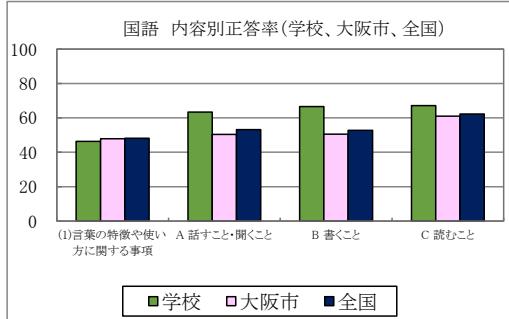
平均無解答率(%)	
国語	数学
3.9	5.7
6.8	11.2
6.7	10.6



【国 語】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方にに関する事項	2	46.3	47.9	48.1
(2)情報の扱い方にに関する事項	0			
(3)我が国の言語文化に関する事項	0			
A 話すこと・聞くこと	4	63.4	50.4	53.2
B 書くこと	5	66.6	50.6	52.8
C 読むこと	3	67.1	61.0	62.3

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と式	5	52.2	41.4	43.5
B 図形	4	50.3	46.1	46.5
C 関数	3	59.3	46.6	48.2
D データの活用	3	66.7	54.0	58.6

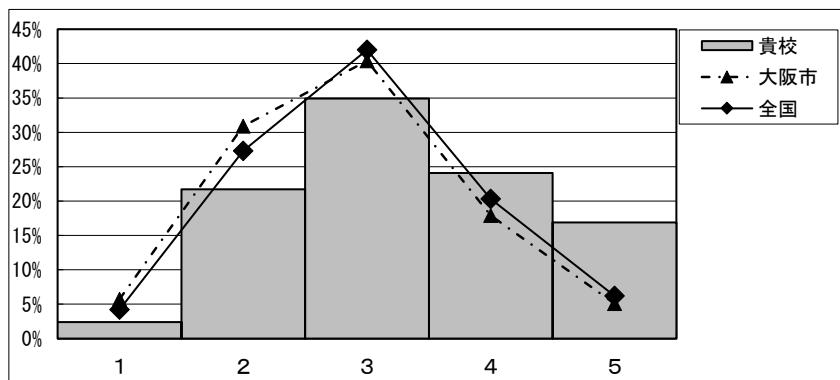
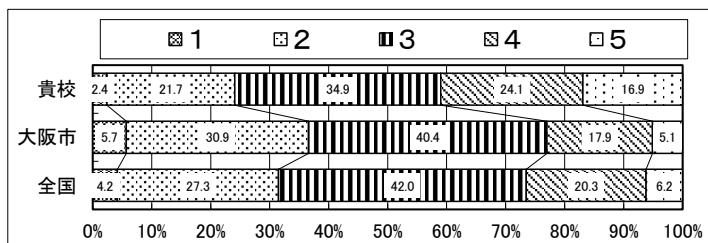


令和7年度 新豊崎中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【理 科】

	平均IRTスコア
学校	546
大阪市	489
全国	503



令和7年度 新豊崎中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

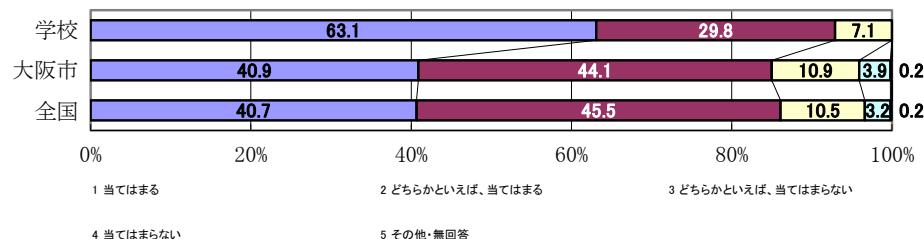
生徒質問より

■ 1 ■ 2 □ 3 □ 4 □ 5 ■ 6 ■ 7 ■ 8

質問番号
質問事項

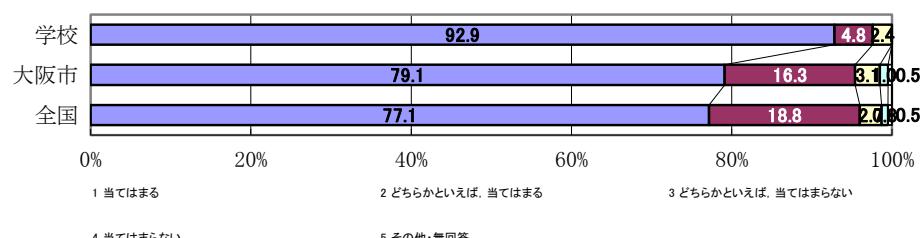
5

自分には、よいところがあると思いますか



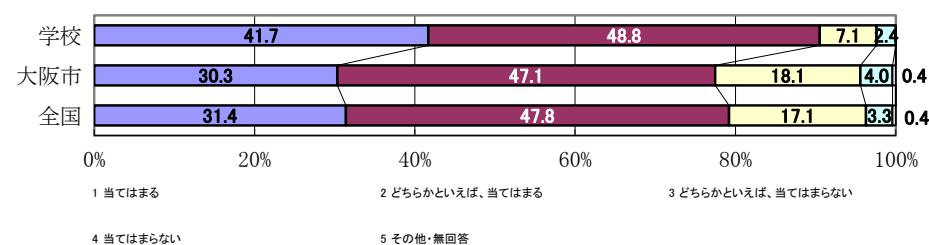
9

いじめは、どんな理由があつてもいけないことだと思いますか



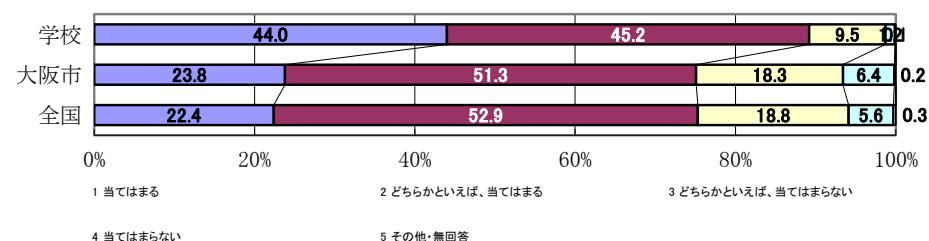
13

自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか



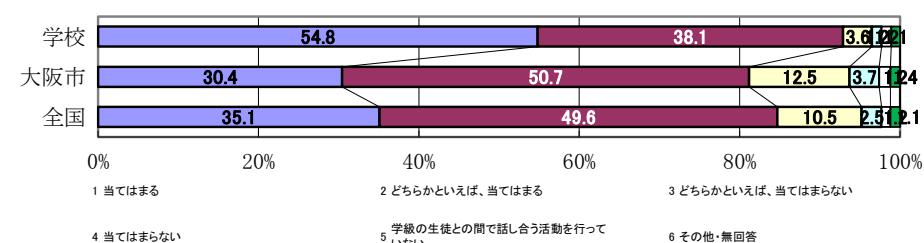
27

地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか



35

学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方方に気付いたりすることができていますか



令和7年度 新豊崎中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

学校質問より

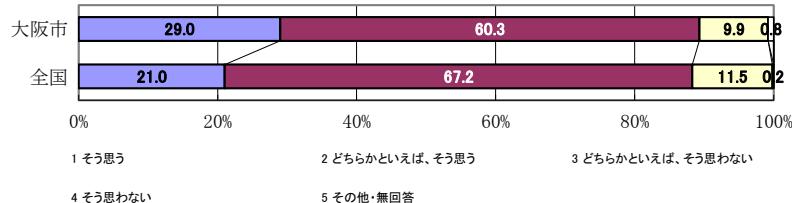
■1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10

質問番号
質問事項

25

調査対象学年の生徒は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか

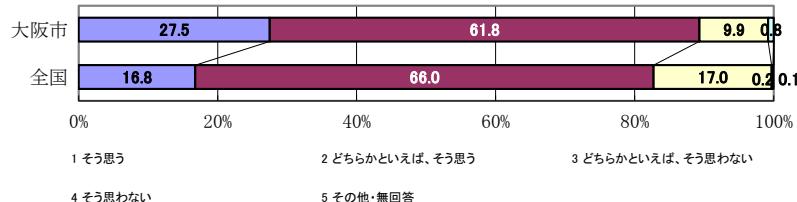
学校 「そう思う」を選択



26

調査対象学年の生徒は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか

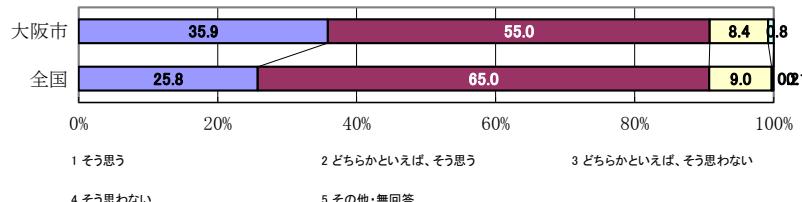
学校 「そう思う」を選択



27

調査対象学年の生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか

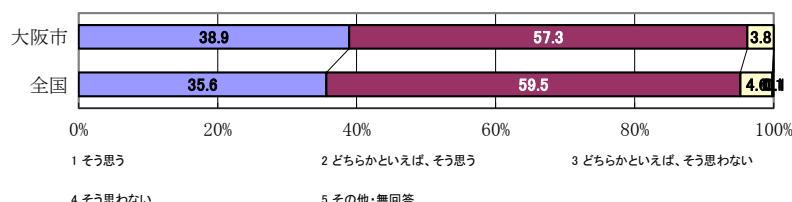
学校 「そう思う」を選択



28

調査対象学年の生徒は、授業や学校生活では、友達や周りの人の考え方大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組めていると思いますか

学校 「そう思う」を選択



29

調査対象学年の生徒は、授業では、自分で学ぶ内容を決め、計画を立てて学ぶ活動を行っていると思いますか

学校 「そう思う」を選択

